

## ～落語からAI活用まで～

目標は県外からの移住者 年間1,000組

# 高知の移住PR作戦が面白い！

「高知県は一つの大家族、高知家」を掲げ移住者の呼び込みを図る高知県。ますます多様になる移住関心層のニーズと、移住者呼びこみの熾烈な地域間競争に応えるため、従来の「高知家プロモーション」に加え、この春、様々なPR企画を発表いたします。

今回、全国で初めて古典芸能の「落語」×「高知の移住」を組み合わせ「移住落語」を企画。人気落語家の「林家彦いち」さんを起用し、“高知暮らし”の喜怒哀楽を人情深く表現しました。

また、富士通株式会社様と移住PR動画を制作したり、決断を迷う移住希望者の人生相談に乗る現地視察ツアーや、SNSを活用した情報拡散を実施したりと、多種多様な企画で移住者の呼びこみを図ります。

### 【PR作戦 その①】

全国初!? 移住落語3月16日(土) お披露目！

落語をテーマにしたアニメやドラマが次々制作される“落語ブーム”が到来する中、高知県は、創作落語の名人・林家彦いちさんと、高知の暮らし、高知への移住をテーマにした落語を作りました。3月、東京で全国初の移住落語、お披露目します。

■日時：2019年3月16日(土) 16:30～17:00

■場所：STOCK（東京都港区高輪2-16-4）



「林家彦いち師匠」

### 【PR作戦 その②】

2月4日公開！AIが導き出した高知の魅力をPR動画に  
～富士通と連携した動画制作～

富士通(株)と高知県との協定に基づいて2014年から実施している地方創生の取り組みの一環として、AIを活用して高知県の魅力を伝える移住プロモーション動画を制作しました。県が首都圏で実施した移住希望者向けのアンケート調査をAIで分析。テキストマイニングの結果、「移住後の不安」として「仕事」「収入」がキーワードとして抽出され、それをもとに動画のテーマを設定しました。

昨年9月から11月にかけて、プロの映像ディレクターの指導のもと、一般公募した参加者らが、東京でのワークショップを経て、2日間かけて高知県内を撮影しました。

3地区3様の高知暮らしの動画を、2019年2月4日から、移住ポータルサイト「高知家で暮らす。」内で公開しています。

- ・「日高村の地域おこし協力隊員」
- ・「高知市のキュウリ農家」
- ・「香美市の起業家ブルワー」

※移住ポータルサイト「高知県で暮らす」／移住PR動画  
⇒<http://www.pref.kochi.lg.jp/~chiiki/iju/prmovie/>



